

メノラー

2013年11月29日 アシェル イントレーター



聖書は、メノラーまたは燭台について、三段階に分けて語っています。一つはトーラー（モーセ五書）に、一つは預言者の書に、そして一つは新約聖書に書かれています。モーセは、7つの枝に分かれた黄金の燭台を作るように、そしてそれを幕屋の至聖所に置くように命令を受けました（**出エジプト 25:31-40**）。祭司はその燭台を管理せよと命じられていますが、メノラーの霊的な意味については明確な教えはありませんでした。

この燭台こそ、マカバイたちによって再奉獻され、そしてハヌカの祝祭日にお祝いされたものでした。ハヌカの燭台はヘブライ語でハヌキヤと呼ばれています。それには9つの枝があります（8日間灯すもので、1つは他の枝に火を灯すためのもの）。これは幕屋のメノラーのレプリカではありませんが、ある意味において、ユダヤ教の伝統における、このメノラーを表すものとなってきました。

二段階目として、預言者ゼカリヤは、二本のオリーブの木が両側にある神秘的なメノラーの幻を見ました。これが象徴することは、主がシオンと神殿を、ご自身の恵みと霊の力によって回復させるという事です（**ゼカリヤ 4:1-10**）。この幻は、現代のイスラエル国家の象徴と国章の基礎となりました。

三段階目は、黙示録に見られるもので、ヨハネは栄光のイエシュアが7つの燭台のただ中に立たれている超自然的な幻を見ました。それは小アジアの7つの教会またはCongregationsを表しています（**黙示録 1:12, 20**）。それは、すべての種類や流れの諸国のエクレシアを構成する象徴となっています。

モーセの燭台にはユダヤ教の伝統の表現、ゼカリヤの預言的な幻には現代シオニズムの表現が見られ、そしてヨハネの幻にはすべての部族、言語、そして国が神の力によって栄光を受けることを表しています。

アハヴァット・イエシュア・Congregations

エディ・サントロとジャッキー・サントロ

先週、私たちは最初の一般的なメンバー会議が行われ、90 人以上の人々が参加しました。指導者チーム全体は、私たちの Congrigo の基礎となる価値観、メンバーとなることはどういうことか、今後のスケジュール、昨年度の会計などを明確に描くプレゼンを作るために共に作業しました。質疑応答と軽食休憩を挟みました。会議は成功裏に終わりました。

どうか私たちの Congrigo のためにお祈りを続けて下さい。私たちの Congrigo はとても順調で、この終わりの時における活気のある生き生きした、エルサレムにある地元の Congrigo となっています。

ラジオインタビュー

アヴィラム・エルダー

最近、アラドのメシアニックジャーの指導者であるヨーヤキム師と、ベエルシェヴァの宗教シャス党の副代表でありオフエル・カラディ師が共にイスラエル南部のラジオ局によってインタビューされました。インタビューのある時点で、ヨーヤキムは「メシアニックジャーはイエシュアをメシアだと信じるユダヤ人だ」と答えたところ、イエシュアへの信仰に対してカラディ師は怒って怒鳴り始め、この放送を止めるように強制しました。インタビュー者は、彼に対して静まるように何度も依頼しましたがうまくいきませんでした。その時点から、インタビュー者はヨーヤキムに対して好意を持つようになりました。それは、彼の優しい、人を尊重する対応にありました。終了時点で、ヨーヤキムには自分の信仰を擁護する時間が多く与えられ、説明しました。「私たちは自分の信仰を他者に分かち合い、彼らが自分で決断する機会を与えているのです。」

どうか、大勢のイスラエル人が自分たちのためにイエシュアについての真理を求めるとお祈り下さい。

裁きの前では誰も義人はいない

ロニ・レジュワン

人類は神の前にジレンマをかかえて生きています。私たちは自分の人生の中でしてきたことに対して裁きを受けるために立たねばなりませんが、誰も自分の利益のために、神の前で自分は義であると宣言出来る者はいません。ダビデ王はこのように言いました。「あなたのしもべをさばきにかけないでください。生ける者はだれひとり、あなたの前に義と認められないからです。」-詩篇 143:2。この箇所は、自分自身で裁きに立つことができない事を表すすばらしい聖書の箇所です。

どうか、私たちの罪の啓示があることを、そしてイエシュアを通しての、神の恵みが必要であることを

お祈り下さい。

IMJA(国際メシアニックジュー同盟)

ポール・ウィルバー

今年の春、私は国際メシアニックジュー同盟の新しい理事長に選ばれました。IMJA は 20ヶ国以上に活動拠点とその実を实らせた団体です。私は、自分の新しい役割は、国内の連携を支援し、さらに大きなメシアの体の一致のための「声」となる事だと考えています。アシェルと私は 30 年以上も近い関係にあります。私たちは最近イスラエル同盟（訳注：IMJA はアメリカを拠点にしていますが、関連するイスラエルの団体。IMJA とは別団体）の理事長であるハナン・ルカツ師と会いました。（アシェルもまたこの団体の理事です）そこで将来互いに協力することを話し合いました。

どうか、国際メシアニックジュー同盟とイスラエル・メシアニックジュー同盟の実がさらに実るようお祈り下さい。

ダンとアーニャ

最近、私たちはダンとアーニャの結婚式に参加しました。アーニャは過去 7 年間リバイブ・イスラエルでの翻訳をとりまとめ、私たちのヨーロッパ・コーディネーターでもあります。ダンには神学学士を持ち、イスラエル公認ツアーガイドでもあります。結婚式には 75 人の「未信者」が出席しました。彼らは式の間中神の喜び、愛、そして臨在を感じていました。

どうか、イエシュアの光がダンとアーニャを通して続けて輝きますようお祈り下さい。

